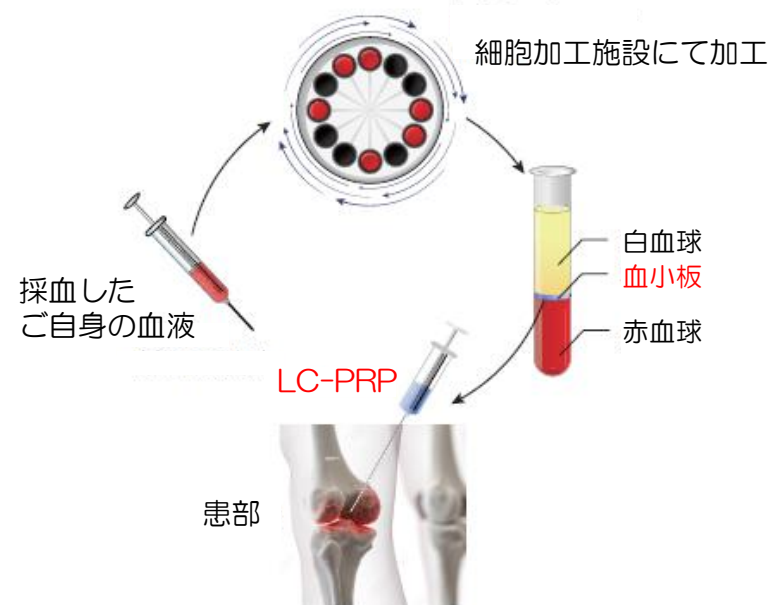


LC-PRP療法とは

患者さま自身の血液（血小板）由来の成長因子を活用する治療法です。

成長因子を傷ついた箇所や痛みのある箇所に注入することで自己修復機能を促し痛みの軽減やけがの早期回復を目指します。



お気軽にご相談ください



Q&A

Q 入院の必要はありますか？

A 外来診療でおこないます。
ただし、採血をする日とLC-PRPを投与する日の2回ご来院いただく必要がございます。

Q 高齢でも治療を受けられますか？

A 手術を行わない注射による治療ですので、高齢の患者さまでも受けることが可能です。
ただし、関節の状態によっては、年齢にかかわらず手術が適していることもございますので、医師にご相談ください。

Q 関節以外の症状でも治療を受けられますか？

A アキレス腱など、靱帯の炎症症状なども適応となることがございます。
症状によって異なるため、まずは現在の症状を医師にご相談ください。

Q 副作用はありますか？

A 患者さまご自身の血小板から抽出した成分を注入するため、重い副作用は少ないと考えられています。ただし、注射による一時的な副作用（痛み、赤み、腫れなど）が起こる可能性はございます。

Q 健康保険の適応となりますか？

A 自由診療で治療をおこなっております。

医療機関名

安全で効果的な
再生医療
ご存知ですか



動画はこちらから



ご相談ください



こんなお悩み ございませんか？

- ☐ 膝に違和感がある
- ☐ 階段をのぼるときに膝が痛い
- ☐ 変形性膝関節症と診断された
- ☐ 手術はなるべくやりたくない
- ☐ スポーツによる関節の痛みがある
- ☐ 関節炎と診断されたことがある



LC-PRPの特長

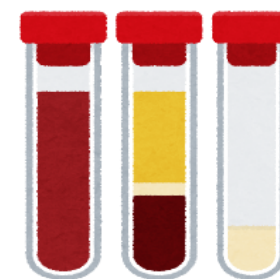
患者さまご自身の血液から抽出した
血小板をもちいた**自由診療**です

①自己修復機能の促進

血小板に含まれる成長因子の働きによって、
患部の自己修復機能が促進されます。

②安心・安全

患者さまご自身の血液をもとに
抽出した成長因子を使用する
オーダーメイド治療なので安心です。

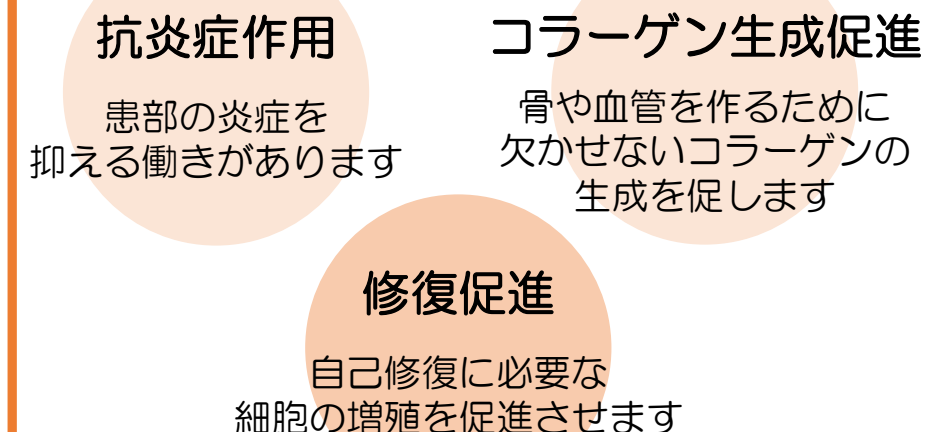


③手術不要関節内注射による治療

LC-PRPは、ひじ、膝の関節内に注射器を使って
注入するため、手術の必要はございません。



期待できる効果



治療のながれ

1回目来院時

問診



関節の痛みや違和感の程度、
これまでにこなってきた治療に
ついてお伺いします。

採血



自己血液約51mlを採取し
細胞加工施設で加工し
出荷前に無菌検査を実施します。

次回来院時(3週間後)

注射



病院にて患部に
LC-PRPを注射します。